

# まちむらNews

第49号 2008.06.02.

(財)都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう)

東京都知事 登録旅行業 第2-5925号

The Organization for Urban-Rural Interchange Revitalization

本のご注文は、当機構 Web サイトから！

農業の真の豊かさを求めて

平成19年度 調査団報告書 第2輯

価格:3,500円



## 平成20年度グリーン・ツーリズムインストラクター育成スクール開講決定！

今年度の標記スクールの開講が決まりました。

日程:平成20年12月9日(火)～12日(金) 3泊4日

会場:筑波研修センター(茨城県つくば市天久保1-13-5)

受講料:90,000円(消費税、宿泊費、食費、認定試験料を含)

募集:30名(先着順)

昨年度までは農林水産省の補助事業で開講して参りましたが、今年度からは当機構単独の主催研修会として、装いも新たに開講することになりました。

そのため受講料を値上げさせていただくことになりましたことをご理解下さい。

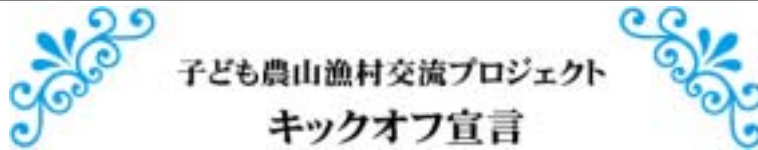
(グリーン・ツーリズム部)



## 子ども農山漁村交流プロジェクト

- 小学生による農山漁村交流・宿泊体験の普及に向けて -  
<http://www.ohrai.jp/kodomo/>

### 子ども農山漁村交流プロジェクト「キックオフ宣言」



子どもたちは、無限の可能性を秘めた、かけがえのない存在です。

我が国にとって人材こそ社会の礎であり、これからの日本を担う子どもたちの成長にとっては、家庭、学校、地域社会の中で人と交流、協力し、自立した一人の人間として力強く生きるためのさまざまな体験・経験が重要です。

農山漁村で子どもたちが長期宿泊体験活動を行う「子ども農山漁村交流プロジェクト」では、子どもたちが親元を離れ、自然豊かな農山漁村で、地域の人々との交流を行いながら、自然や文化に触れる体験や、農林漁業体験など、様々な経験を積み重ねます。これらの実体験を通じて、子どもたちは、食の大切さや農林漁業への理解を深めるとともに、自らを律しつつ、周囲と強調し、思いやる心や感動する心を始めとする豊かな人間性や社会性を身につけていくことでしょう。

農山漁村にとっても、子どもたちの元気な笑い声はそこに住む者に喜びを与え、また、「いのち」を育む農林漁業に対する子どもたちの真剣なまなざしや、豊かな自然に感動する姿、伝統文化への興味あふれる表情は、郷土の良さを再発見や誇りを呼び起こすことでしょう。そして、農山漁村に子どもたちを始めとして交流の輪が広がり、地域の再生や活性化に大きく寄与することでしょう。

私たちは、農山漁村が人間の成長を支える教育の場となり、そこでの交流が子どもたちの生きる力を育むとともに、農山漁村に活力をもたらすことを認識し、我が国の明るい未来を創り出すため、学校、地域社会、行政が一体となって、「子ども農山漁村交流プロジェクト」に取り組むことをここに宣言します。

平成20年5月19日

子ども農山漁村交流プロジェクト全国推進協議会



### 愛称は

「ふるさと子ども夢学校」

<http://www.ohrai.jp/kodomo/news/nickname3.html>

子ども農山漁村交流プロジェクトの愛称につきましては、4月28日から5月9日までの応募期間に、全国から1,356件のご応募を頂きました。多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。

ご応募いただいたすべての愛称案について、全国推進協議会による厳正なる審査の結果、「ふるさと子ども夢学校」(ふるさとこどもゆめがっこう)に決定し、5月19日に東京で開催した「子ども農山漁村交流プロジェクト発足記念シンポジウム」において発表しました。

命名者:加賀谷辰夫さん  
(富山県小矢部市)

「子ども農山漁村交流プロジェクト発足記念シンポジウム」において、キックオフ宣言が子ども農山漁村交流プロジェクト全国推進協議会委員の北海道・長沼町長 板谷利雄氏より披露されました。(子ども農山漁村交流プロジェクト担当:地域活性化部)

**ふるさと回帰フェア2008開催決定！**

ふるさと回帰フェア 2008 の開催日が下記のとおり決定しました。昨年同様、東京と大阪の2カ所で開催致します。

今年は皆さまのご要望にお応えして、屋内会場としました。

現在、出展募集要項の内容を検討中です。募集開始は6月中旬頃を予定しています。皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

**【東京会場】**

日時：平成20年9月19日(金)～20日(土)  
場所：サンケイビル(東京都千代田区大手町)他

**【大阪会場】**

日時：平成20年10月4日(土)  
場所：ATCホール(大阪府大阪市住之江区)

(地域活性化部)

**平成20年度ヨーロッパ諸国における農山村振興対策事情  
及びグリーン・ツーリズム調査団 ～ 参加者募集！ ～**

<http://blog.furusato.or.jp/machimura/2008/04/20.html>

本調査団は、ヨーロッパ諸国における農業の実態や農業・農山村政策及びグリーン・ツーリズムについて調査するとともに、現地の農業関係者と交流を深め、各国の農業・農山村の実情を学ぶことにより、我が国の農業・農山村の振興を図ることを目的としております。

本年度の計画では、国際化に対応した我が国の農業・農山村地域の基盤強化、地域農業の発展のため、本調査団に参加し地域農政の推進にご活用いただくことをお願い申し上げます。

期 間：2008年10月23日～31日(9日間)  
調査国：スペイン・ドイツ・スイス・フランス  
募集範囲：都道府県、市町村、農業団体等の  
          役職員、農業者、企業関係者等  
          30名  
申込締切：9月5日(定員になり次第締切)  
研修企画及び視察企画：まちむら交流きこう  
後援：全国山村振興連盟  
旅行企画・実施：近畿日本ツーリスト(株)虎ノ門公務旅行支店



(担当：宮原)

**第112回 月例研究会**

- 「平成19年度食料・農業・農村白書」 -  
<http://www.kouryu.or.jp/monthly/>

6月10日(火)14:00より、当きこう会議室にて第112回月例研究会を開催します。

講師に農林水産大臣官房情報課情報分析室長 池淵雅和氏をお招きし、「平成19年度食料・農業・農村白書」をテーマに講演していただきます。

(プロジェクトきこう部)

**- 中山間地域フォーラム設立2周年記念シンポジウム -  
「過疎地域の過去・現在・未来 ポスト過疎法を見据えて」**

中山間地域の再生を支援すべく産学民官の有識者が連携協力し活動している中山間地域フォーラムでは、ポスト過疎法を見据えた国民的な議論を喚起すべく、下記によりシンポジウムを開催することになりました。

テーマ 「過疎地域の現在・過去・未来 - ポスト過疎法を見据えて」

日時 平成20年7月5日(土) 14時30分～17時30分

会場 東京大学弥生講堂一条ホール

主催 中山間地域フォーラム・(財)農学会

プログラム 講演 「いま、過疎山村では」

中国新聞記者 二井理江氏

「過疎山村の豊かさの昔と今」

『増刊現代農業』編集長 甲斐良治氏

「中山間地域における未来社会概念」

山口県立大学大学院教授 小川全夫氏

コメント 全国水源の里連絡協議会会長 京都府綾部市長 四方八洲男氏

総務省過疎対策室長 佐藤啓太郎氏

パネルディスカッション

コーディネーター 農村工学研究所 工藤清光氏

後援 東京大学大学院農学生命科学研究科、全国水源の里連絡協議会

(お問合せは 中山間地域フォーラム事務局 TEL:029-838-7607

URL <http://www.chusankan-f.net/>)

**お問い合わせ先**

当機構への各お問合せは  
TEL **03-3548-**まで共通

代表(総務部)	2711
広報情報センター部	2716
プロジェクトきこう部	2712
グリーン・ツーリズム部	
(体験民宿)	2714
(スクール)	2715
地域活性化部	2718
山村再生	2726
子ども農山漁村交流プロジェクト	2713
FAX	03-3276-6771

-----  
まちむら News に関する事については広報情報センター部までお問い合わせ下さい。バックナンバーは、  
[www.kouryu.or.jp/mmn/](http://www.kouryu.or.jp/mmn/)  
-----

**まちむら News** 第 49 号

2008.06.02.

〒103-0028 東京都中央区八重洲  
1-5-3 不二ビル 8F  
(財)都市農山漁村交流活性化機構  
(愛称：まちむら交流きこう)  
東京都知事 登録旅行業 第  
2-5925号